

サポートチームだより

部活動地域移行（展開）をスポーツ・文化振興のために ～令和7年度第1回市町村担当者ミーティング開催～

令和7年9月18日（木）に十勝総合振興局A B会議室において「令和7年度第1回部活動地域移行市町村担当者ミーティング」（以下「ミーティング」）を開催しました。ミーティングは各市町村教育委員会担当者20名の会場出席者と一部オンラインによる参加者により行いました。

～東川町地域おこし協力隊 谷島 大知 氏 講演～

ミーティングでは、東川町地域おこし協力隊 ^{たにしま} ^{だいち} 谷島 大知 さん（=右写真）により「東川町のスポーツ・文化活動の持続的な振興に向けた取組について～部活動地域展開はゴールではなく、きっかけとして～」と題し、講演を行っていただきました。講演は前回のミーティングにおけるアンケートの要望にもあった「他管の先行事例の紹介」として企画し、上川管内で積極的に取組を進めている東川町の部活動地域移行についてオンラインで会場と谷島さんをつなぎ実施しました。谷島さんは講演で「部活が主語ではなくスポーツ・文化振興のため」や「社会システムを変える取組」などの印象的なワードを多く述べられ、「プロスペクト理論」や「社会的関係資本」などの学術的な資料に基づいて、この部活動地域移行の取組についての必要性や目指すべき成果などの説明をしていただきました。また、「鍵は持続性」であると考えているが「まだまだ課題はある」と述べ、取組が進んでいる自治体においても取組の難しさがあるとのことでした。講演を聞いた出席者からは「地域移行を検討するにあたっての実践を通じた留意点を聞いた」や「地域クラブへ移行した際の流れ、構成、費用等、詳しく知ることができて有意義な時間となった」などの意見が聞かれ、有意義な講演となりました。



講義する谷島さん
(ZOOM画面より)

〈11月に素案が決定の予定〉

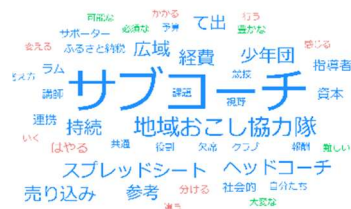
行政説明では、教育支援課 主査（地学協働） ^{うどう} ^{まさや} 有働 雅哉 より、「北海道部活動の地域展開に関する推進計画の改定骨子について」等についての説明を行い、令和7年度中に改定される国のガイドラインを踏まえて、道は推進計画について必要な改定を行う予定であること、今後は有識者会議などの意見を踏まえながら11月に素案が決定される予定であることについて説明を行いました。

〈各自治体における取組の情報交換が行われる〉

ミーティング後半は、当局の社会教育指導班が主導で「グループ討議」を実施し、「4つの窓」によるアイスブレイクの後に出席者による取組の情報交換等を行いました。またグループ討議では、参加者のスマートフォンを用い本日の谷島さんの講演について印象に残ったことなどのアンケートを行い、それをテキストマイニング（右図）するという手法で出席者の講演に対する印象について傾向をお伝えしました。出席者からは「他市町村の動向や取組が知れてよかった」という一方、「時間が短い」「討議テーマ設定に工夫を」などの声もあったことから、ミーティングの開催を担当した有働主査は「次回の開催に向けては各自治体のニーズにもっと応えられるよう努めていきたい」と述べていました。



熱心に話し合う出席者



実施したテキストマイニング

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243 E-mail: tokakyo.kyouiku@pref.hokkaido.lg.jp